

音楽堂室内オペラ・プロジェクト第5弾

令和4年度(第77回)
文化庁芸術祭参加公演



Handel Opera Silla, HWV 65 (Japan Premiere)

あの春の約束が果たされ、夢が蘇る
ヘンデルの、最も美しく、
最も謎に満ちたオペラ 実現!



Fabio Biondi & Europa Galante 2022.10.29.sat. and 10.30.sun

バロックオペラ

ヘンデル
イタリア語上演/日本語字幕付
日本初演
全3幕
台本: ジャコモ・ロッシ

2022年
10月29日(土)・30日(日)

15:00開演 14:00開場 上演時間:2時間40分(予定)

14:15~ ビオンディと彌勒忠史によるプレトーク

- 音楽監督: ファビオ・ビオンディ(指揮・ヴァイオリン) ●管弦楽: エウローパ・ガランテ
- 演出: 彌勒忠史 ●美術: tamako☆ ●衣裳: 友好まり子
- 照明: 稲葉直人(ASG) ●字幕翻訳: 本谷麻子 ●舞台監督: 大澤裕(ザ・スタッフ)

- 配役 シッラ: ローマの執政官 ソニア・プリナ(コントラルト)
- クラウディオ: ローマの騎士 ヒラリー・サマーズ(コントラルト)
- メテッラ: シッラの妻 スンヘ・イム(ソプラノ)
- レビド: ローマの護民官 ヴィヴィカ・ジュノー(メゾ・ソプラノ)
- フラヴィア: レビドの妻 ロベルタ・インヴェルニッツィ(ソプラノ)
- チェリア: シッラの副官の娘 フランチェスカ・ロンバルディ・マズーリ(ソプラノ)
- 神: ミハエル・ホルス(バリトン) ほか



ソニア・プリナ ヒラリー・サマーズ スンヘ・イム ヴィヴィカ・ジュノー ロベルタ・インヴェルニッツィ フランチェスカ・ロンバルディ・マズーリ ミハエル・ホルス 演出: 彌勒忠史

*2022年9月時点の情報です。やむを得ず変更が生じることがあります。
出演者変更に伴うチケットの払い戻し、変更は承りかねます。何卒ご了承ください。

木のホール
神奈川県立音楽堂

音楽堂室内オペラ・プロジェクト特設サイト



ファビオ・ビオンディ

日本の音楽ファンが泣いた日 あの日の約束が果たされ、夢が蘇る!

2020年2月26日。日本の音楽ファンが涙を流した。
世界の古楽界のリーダー、ファビオ・ピオンディ率いるエウローパ・ガランテによるヘンデルのオペラ『シッラ』が、日本のクリエイターとの協働で日本初演される日まであと3日にして、コロナウイルス対策の政府の要請をきっかけに、公演中止となったのだ。
数々のオペラの復刻上演の実績をつんできたピオンディだからこそ実現できるレパートリー。
世界でまだ誰も見たことのないエウローパ・ガランテの完全舞台版。
"聴き逃したら、絶対に後悔する!"との触れ込みで注目を集め、演出の彌勒忠史は、2019年春にイタリアに飛んでピオンディと打ち合わせ「全面的にあなたを信頼する」との力強い言葉を得て、オペラ界で活躍する気鋭のクリエイターたちでチームを組み、着々と準備を重ねていた。
ヴィヴィカ・ジュノー、ソニア・プリナ、ロベルタ・インヴェルニツィ、ヒラリー・サマーズら、世界の古楽界を代表する豪華な歌手陣が来日して稽古が進み、2公演のチケットはほぼ完売していた。実現すれば、日本の音楽演

奏史のマイルストーンになるはずの舞台。中止とともに、音楽堂に寄せられた全国のファン、専門家からのメッセージはたったひとつだった。

「かならず、近いうちに日本公演を実現させてください」
2020年の春、出演者、スタッフは「かならずもう一度ここで会おう」と誓い合って別れ、横浜を飛び立った。
そのメンバーが今年10月、再び横浜に集結する。
ヘンデルの「最も謎につつまれたオペラ」といわれる『シッラ』は共和制ローマに実在した暴君ルキウス・シッラ(シッラ)の物語。現代にもありそうなストーリーが絶妙に音楽化された傑作。
ピオンディは語る。「何よりもその音楽がすばらしい。ヘンデルの音楽の最も美しい部分が凝縮したようなオペラです」
日本のクリエイターと世界一流の音楽家たちが火花を散らす日本初演。

さあ、今こそ約束は果たされる——夢は蘇る。
この瞬間を「聴き逃したら絶対に後悔する」!!



©Emile Ashley

ファビオ・ピオンディ
(音楽監督:指揮・ヴァイオリン)

Fabio Biondi
Music Director & Violin

イタリア、パレルモ出身。1990年、イタリア・バロック音楽アンサンブル「エウローパ・ガランテ」を結成。ソリスト、指揮者としても数多くのオーケストラと共演。ノルウェー・スタヴァンゲル交響楽団のバロック音楽のための芸術監督。サンタ・チェチーリア音楽院学芸員。バレンシアのパラ・ド・ラ・アルテオーケストラ音楽監督。2015年、フランス文化省から芸術と文学の国家学術員に指名されるなど、世界の古楽界を牽引し続けている。



エウローパ・ガランテ(管弦楽)
Europa Galante

1990年、音楽監督であるファビオ・ピオンディによって設立された古楽アンサンブル。バルマのドゥーエ劇場を活動拠点とし、バロック、古典の作品を当時の楽器で演奏する。バロックの器楽曲に限らず、ヴィヴァルディ作曲『バイゼット』『テルモドンテ川のエルコレ(ヘラクレス)』『メッセニアの神託』ほか、ヘンデル作曲『アグリッピーナ』『イメネオ』等、バロック・オペラやオラトリオもレパートリーとしている。さらに、ローマのサンタ・チェチーリア音楽院と共同で、アントニオ・カルダーラ『キリストの受難』、レオナルド・レーオ『カルヴァリオの丘の聖エテナ』等、18世紀以前のイタリア・オペラの再発掘や復元に尽力している。CDのリリースも多く、数多くの賞に輝いている。そしてミラノ・スカラ座、サンタ・チェチーリア音楽院等イタリア国内にとどまらず、ヨーロッパ、オーストラリア、日本、カナダ、イスラエル、アメリカそして南アフリカまで招かれ、世界中の一流ホールで演奏している。

あらすじ 舞台は古代ローマ。執政官シッラは凱旋し独裁政治を宣言する。貞淑な妻メテッラがいるにもかかわらず、護民官レピドの妻フラヴィアや副官の娘チェリアに言い寄ったり、神殿で祈りを捧げる人々を皆殺しにしたりと、横暴を繰り返している。レピドやチェリアの恋人で騎士のクラウドイオは、その独裁に異を唱えるが、シッラは二人を捕らえ暗殺まで命じる。その後シチリアへの任務でシッラは出帆するが、激しい嵐で船が座礁し、メテッラは夫シッラの救出に向かう…!

チケット 全席指定 S席15,000円 A席12,000円(完売) B席10,000円(完売) U24*7,500円(24歳以下) 高校生以下(完売)
車椅子S席15,000円(付添1名無料)
*U24、車椅子(付添)は要事前予約。チケットがながわのみで取扱い。引き取り方法により手数料がかかります。*未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取扱い
●チケット **Tel.0570-015-415(10:00~18:00)**
かながわ www.kanagawa-ongakudo.com/ (24時間)
窓口 神奈川県立音楽堂(13:00-17:00)月休
神奈川県民ホール(10:00-18:00)
KAAT神奈川芸術劇場(10:00-18:00)
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード217-761]
●イープラス <https://eplus.jp/>
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード33451]

イベント託児マザーズ 【要予約・定員制】お子様お一人につき2,000円
Tel.0120-788-222(土日祝除く10:00-12:00/13:00-17:00)

主催: 神奈川県立音楽堂
(指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団)
共催: 横浜アーツフェスティバル実行委員会
[横浜音楽祭2022共催プログラム]
後援: イタリア大使館/イタリア文化会館
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力: 日本ヘンデル協会



関連企画
演出の彌勒忠史によるレクチャー開催!
9月11日(日) 14:00 横浜能楽堂 第二舞台
日本伝統芸能×オペラ
"所作とgestualitàでひもとくバロック・オペラ"
制作・広報インターンも9月から活躍! 詳しくは特設サイトに→

神奈川県立音楽堂では、主催公演の実施にあたり新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みをいたします。ご来場前に、音楽堂ウェブサイト「ご来場のお客様へのお願い」をご確認ください。

木のホール
神奈川県立音楽堂
〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 TEL.045-263-2567
<http://www.kanagawa-ongakudo.com/>
■ JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分
■ 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分
■ みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分
開場・開演に合わせてJR桜木町駅から無料バスを運行!
①13:40 ②13:55 ③14:10 ④14:25 ⑤14:40

